

令和2年 理事会議事録（第4回）

2020年10月23日(金)19:00～22:00

Zoom

理事出席:仲田、坂田、遠藤、和久井、渡邊、松川、高村、小島、横山、有馬、谷口(途中参加)

監事出席:黒淵、松崎

副部長出席:友利

欠席: 岩瀬

順不同、敬称略

I.報告事項

【会長】

① 第2回47都道府県委員会について

9/12(土) Webにて開催された。議事録は理事内にて回覧済み。

② 事務所設置WG会議について

第2回8/21(金)、第3回9/11(金)会議を開催した。事務所設置場所が決定した。

③ 喜連川社会復帰促進センターにおける運営事業の関心表明書の提出について

資料別紙。小学館集英社プロダクションにおける刑事施設の教育・分類・職業訓練業務等の運営業務に、栃木県作業療法士会は関心を持っていることを表明する書類を提出した。

【横山副会長】

④ 第24回栃木県脳卒中・循環器疾患対策協議会参加報告について

- ・2020/9/8 県庁会議室にて開催された。
- ・第7期計画(2018～2023)に則り、栃木県独自の対策を打ち出す。
- ・本年度から脳卒中部会、循環器疾患部会も分けて開催する。
- ・冬期死亡者が全国ワースト1。こちらに対しての改善策を中心に。
- ・フレイルリーフレット配布協力依頼あり。→栃の実に同封

⑤ 研修会検討会開催について

- ・2020/9/15 有馬理事、岩瀬理事、松川理事、渡邊理事、横山副会長でWEB開催。
- ・研修会開催マニュアル、感染対策マニュアルの検討を行った。
- ・2020/10月～2021/1月の間のWEB研修会開催日の調整を行った。
- ・各種マニュアルについては、来年度も検討継続が望ましい。

【事務局】

⑥ 事務所設置進捗状況について

事務所設置場所が決定し、今後正式に契約予定。11月より賃借契約開始。
必要物品や事務局員の雇用も含め今後WGで会議を進めていく。

⑦ Zoom法人契約について

10月16日 契約完了。

【財務部】

⑧ 令和2年度年会費領収証発行数(10/2現在)について

(令和2年度分2020)・・・67施設449名(内自宅会員4名)

(令和元年度分2019)・・・1施設1名

(平成 30 年度分 2018)・・・1 施設 1 名

(平成 29 年度分 2017)・・・1 施設 1 名

※7/1～10/2 の期間、財務部へ納入連絡メール、入金を確認できた人数

⑨ 活動費分配状況について (10/8 現在)

栃木県災害リハビリ対策委員会のみ分配できていない。

⑩ 上半期決算について (10/8 現在)

- ・本年度稼働している会計窓口数は全 31 部署。
- ・上半期決算報告数 21 部署 (内：受理 20 部署、確認中 1 部署)
- ・未報告：10 部署 (内：4 部署より遅延連絡あり)

⑪ 本年度収支経過について

- ・(A) 上半期支出 : 712,807 円・・・別紙資料
- ・(B) 上半期収入 : 3,607,000 円・・・年会費 (449 名分×8000 円) + (3 名×5000 円)
- ・(C) : 34,000 円・・・(未処理年会費：5000 円入金 2 名、8000 円入金 3 名)
- ・(D) 下半期活動費：4,195,193 円・・・別紙資料

【地域リハビリテーション推進部】

⑫ 会議報告について

(ア) 第二回地域包括ケア推進部門内会議 (9/16)：WEB 研修企画・運営、専門職協会 ※別紙参照

⑬ 研修会報告について

(イ) OT 協会主催の「地域支援事業に資する人材育成 WEB 研修会」(10/3)：

横山 (副会長)、久米 (副部長)、菊池 (副部門長)、有馬の 4 名参加 ※別紙参照

⇒OT 協会の特設委員会『地域包括ケアシステム推進委員会』は今年度で終了、次年度以降に関しては、対応部・課を常設化する予定。

⇒関東ブロックの連携は今後も継続し、輪番制にて会議を実施。栃木県より開始、12 月予定。

(ウ) 地域支援事業に資する人材育成 WEB 研修会実施 (10/18)：参加者 15 名

【教育部】

⑭ 選択研修のあり方について (OT 協会生涯教育制度推進班からの連絡事項)

- ・今年度に関しては各士会単位で制限を設けて良い。(県士会員限定など)
 - ・受講料については原則 4000 円ではあるが、今年度に限り士会にて金額を決定して良い。
- ⇒栃木県においては、現行通り 4000 円の参加費で実施する。

⑮ 第 1 回現職者共通研修について

10/25、Zoom にて開催予定 (生涯教育概論：参加予定者 27 名、作業療法の可能性：参加予定者 31 名)

⑯ 生涯教育制度推進班担当者会議について

11/14 Zoom にて開催予定。教育部金子副部長がオブザーバー参加予定。

【住宅改修・福祉用具委員会】

⑰ 自助具コンテストについて

今年度は 7 名 13 作品の応募があり。→10/21 に委員と有馬理事で審査し、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名、学会長賞 1 名を選定予定。

⑱ 研修会について

R3 年 1 月 16 日開催予定。仮テーマ「自助具を作ってみた&使ってみた」。講師は委員で行う。

【自動車運転支援検討委員会】

⑱ 活動予定について

11月に第一回の会議を開催予定。研修会も開催する方向。協会の委員会の動向も確認していく。

【災害リハビリテーション対策委員会】

⑳ OT協会主催災害時シミュレーションについて

9/25に大規模災害の発生を想定したシミュレーションを実施。マメールにGoogleフォームのアンケートのリンクを貼り付けて士会員の安否確認を実施。⇒250名中78名の返信あり(返答率31.2%)。10月末に協会へ最終報告予定。

㉑ 連絡網について

更新予定。今後の会議で調整して、年内には発送できるよう検討。

【栃木県作業療法学術集会】

㉒ 進捗状況について

第三回会議を9/30実施 ※別紙参照

広報手段は、10/9ホームページ掲載、他メールリストを活用。

II. 審議事項

【会長】

① 令和3年度士会活動について

⇒12月理事会に次年度事業計画と予算案の提出

② 研修会参加費検討について

参加費徴収方法を検討し、選択肢の多い仕組みを整備する必要がある。

⇒研修会運営に関わる理事を中心に、特設委員会として、研修会等検討委員会を設置する。メンバーも増員。

委員長は横山副会長とする。

【事務局】

③ 会議費について

委員会や理事会等のオンライン会議において、弁当代+通信費としてQOUカード(1,000円/2時間)支給と決定したが、OT協会主催の委員会や士会代表会議、研修会に参加する場合においても(47委員会・MTDLP拡大連絡会議・地域支援事業に資する人材育成研修会・災害支援研修会など)同様の扱いとして支給して良いか

⇒継続審議。今年度の会議等を事務局で集約してから、再検討。

④ Zoomのアカウントの共有・管理について

Web会議スケジュール管理も含め、Googleカレンダーを活用し利用時間・日程等を管理したい⇒承認

⑤ 事務所設置、Zoomの利用料について

支出の扱いをどうすべきか

⇒Zoom利用料は事務局費から支出、事務所設置にかかる費用は別名目で補正予算を組む方向で検討。

【財務部】

⑥ オンライン会議におけるツールについて

会議費支出は650円+通信費の位置づけとしているが、Zoom以外でのツールを利用しても良いか

⇒議事録作成・提出がされていれば会議として認める。

⑦ オンライン会議費の支払いについて

購入の負担、分配の簡素化を考慮し1000円クオカードではなく現金での支払いを認めてよいか

⇒今年度は既にクオカードで一部支払いを終えているため、クオカードで統一とする。

【教育部】

⑧ 部員の確保について

次年度に関しては会場研修だけでなく、オンライン研修やハイブリット研修など研修会の開催方法も多岐にわたると考えられる。そのため、次年度は数名部員を増員させた体制を取りたい。部員募集をしていただきたい。
⇒析の実、士会HPを利用し部員の公募していく

【横山副会長】

⑨ 法人クレジットカードについて

事務所契約後に住所登録の変更等を行っていくが、その他、暗証番号等の管理や諸々の登録をどうするか
⇒今後事務所設置のWG会議で検討していく

⑩ 栃木県リハビリテーション専門職協会の研修会について

ブラッシュアップ研修会がPT士会主催となっている。生涯教育ポイントを付与して良いか
⇒ポイント付与は認められる。後日、研修会担当者から教育部へ情報を伝達してもらう。

【住宅改修・福祉用具委員会】

⑪ 研修会について

今年度、追加で研修会を実施したい（テーマ:自宅出来るスプリント研修会(仮) 日程:12月予定)
⇒承認

Ⅲ. その他

① 今年度の臨床実習指導者講習会について

2021/2/13, 14 : 国際医療福祉大学

2021/3/27, 28 : マロニエ医療福祉専門学校

⇒詳細決定次第、アナウンスしていく

次回理事会：2020年 12月 18日(金)

会場:Zoom